

（課題名） 膀胱浸潤大腸癌に対する鏡視下手術の妥当性についての 検討について

本調査研究の概要を以下に示します。【対象】に該当すると思われる方で、本調査研究に関するお問い合わせや調査の対象となることを希望されない場合は、担当医にお申し出ください。

【本調査研究の目的】

他臓器浸潤がんにおける鏡視下手術の妥当性についてはデータが少ない状況です。そこで当院のデータを用いて後ろ向きに膀胱浸潤大腸癌に対する鏡視下手術の妥当性についての検討を行います。

【対象】

関西労災病院で2018年8月1日から2022年1月31日に膀胱浸潤大腸癌もしくは疑いで鏡視下手術を受けた患者さん

【情報の利用目的及び利用方法】

調査項目を用いて検討し、結果を学会にて発表いたします。

【調査項目】

術前状況と手術後の短期及び中期成績

患者情報、大腸癌の状況、術式、手術時間、出血量、術後合併症率、再発の有無

なお、必要な情報のみを統計資料として集計しますので、患者さんのお名前など個人を特定できる情報が明らかになることはありませんので、ご安心ください。

【調査対象期間】

2018年 8月 1日 ～ 2024年 12月 31日

【利用する者の範囲】

関西労災病院 消化器外科 平木将之

【試料・情報の管理について責任を有する者】

関西労災病院 消化器外科 平木将之

【研究期間】

実施許可日から 2025 年 12 月 31 日（調査状況により調査期間を延長する可能性があります）

【当院の研究責任者】

平木将之

関西労災病院 消化器外科

〒660-8511 兵庫県尼崎市稲葉荘 3-1-69

TEL: 06-6416-1221（代表）

FAX: 06-6419-1870（代表）

E-mail : hiraki-masayuki@kansaih.johas.go.jp